

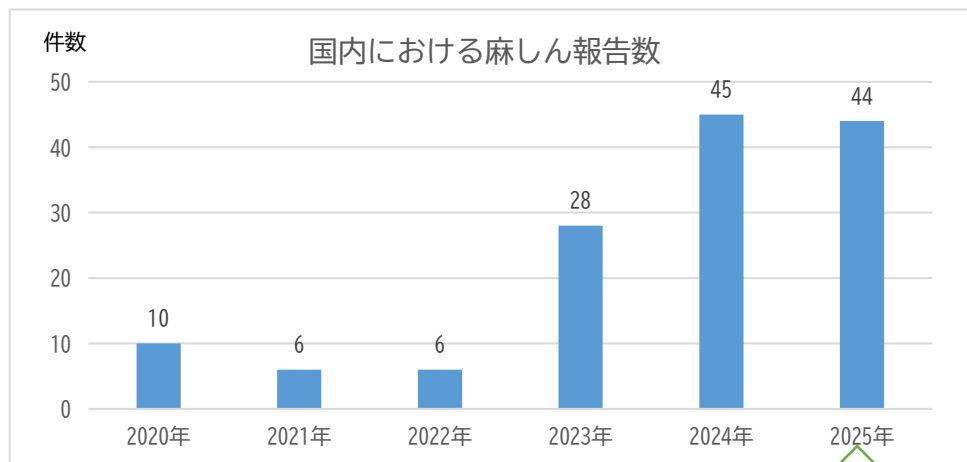
気をつけよう！感染症（令和7年第5号）

令和7年4月9日発行
松本市保健所保健予防課

麻疹(はしか)は世界で流行している感染症です！！

麻疹(はしか)の報告が増えています。

麻疹は、現在海外で流行しており、海外で感染し国内で診断される事例が増えています。今後、海外で感染した事例のさらなる増加や国内における感染事例が増える可能性があるため、注意が必要です。



感染症発生動向調査より

2025年3月現在

【感染経路】

- 麻疹ウイルスは感染力が非常に強く、空気感染等により人から人に感染します。
- 麻疹の免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症します。

【症状】

- 感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。
- 肺炎や中耳炎、脳炎などの合併症を発症することもあります。

麻疹(はしか)はワクチン接種が予防に有効です

麻疹は感染力が強く、空気感染するため、手洗いやマスクだけでは予防できません。麻疹の最も有効な予防法は予防接種です。

○海外に行く前に予防接種歴を確認しましょう。

麻疹にかかったことがなく、ワクチン接種を受けたことのない方は、かかりつけ医にご相談ください。特に医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種を検討してください。

○定期接種を受けていない方は、接種を検討してください。

確実な免疫を得るためには、2回の接種が必要です。定期接種対象者（1歳児、小学校入学前1年間の幼児）は、期間内に接種することを積極的にお勧めします。

麻疹について詳しくはこちら

麻疹について（厚生労働省）



松本市感染症情報
2025年第14週(03月31日～04月06日)

※速報値

今週の発生状況

- 全数把握感染症
今週は、結核と百日咳の発生がそれぞれ1件ずつありました。
- 定点把握感染症
感染性胃腸炎の患者数が、引き続き多い状況が続いています。食事の前、トイレの後など流水と石けんでの手洗いを徹底しましょう。

【お知らせ】急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスが開始されます。
急性呼吸器感染症（ARI）が5類感染症（定点把握感染症）に位置づけられたことに伴い、令和7年4月7日から定点医療機関（これまでのインフルエンザ/COVID-19定点）において患者数を把握することになりました。次週の感染症情報から患者数の掲載を行います。

【定点把握感染症報告状況】
インフルエンザ/COVID-19（10定点）

疾病名	年齢	～5か月	～11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計	前週状況	定点あたりの報告数	注意報基準	警報基準
インフルエンザ	男									2	1		3	1	1		1					7	13	1.80	10	30
	女									2	2	1	3					1				11	12			
COVID-19	男	1		2							1		1	1	3	4	1	1	1	2	2	20	19	5.70		
	女	1	1	1	1			1					1	1	7	3	2	2	6	3	7	37	26			

小児科（6定点）

疾病名	年齢	～5か 月	～11か 月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上	合計	前週 状況	定点あたりの 報告数	注意報 基準	警報 基準
RSウイルス感染症	男	2		1	3											6	2	2.17		
	女		1	3	2			1								7	9			
咽頭結膜熱	男															0	1	0.17		3
	女						1									1	0			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男					1		1	1							3	4	0.50		8
	女															0	0			
感染性胃腸炎	男			4	2		4	1		3		1			1	16	24	6.17		20
	女		2	1	1	2	1				2	2	4	1	5	21	26			
水痘	男										1					1	0	0.17	1	2
	女															0	0			
手足口病	男															0	0	0		5
	女															0	1			
伝染性紅斑	男			1	1				1	1						4	1	1.17		2
	女						1	1	1							3	4			
突発性発しん	男															0	2	0		
	女															0	1			
ヘルパンギーナ	男															0	1	0		6
	女															0	1			
流行性耳下腺炎	男															0	0	0	3	6
	女															0	0			

眼科（1定点）

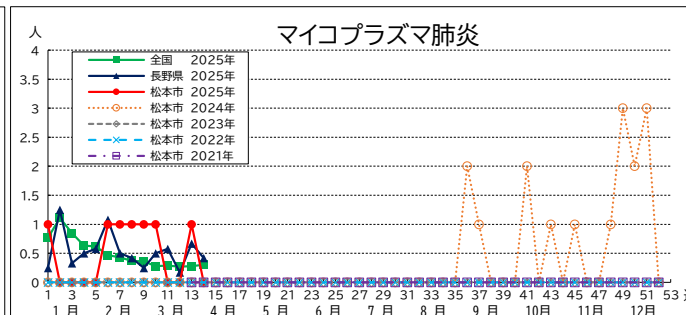
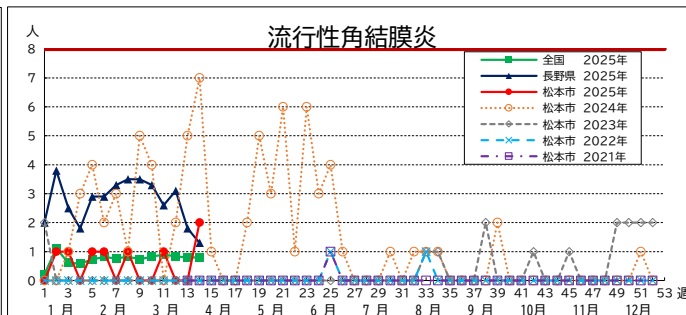
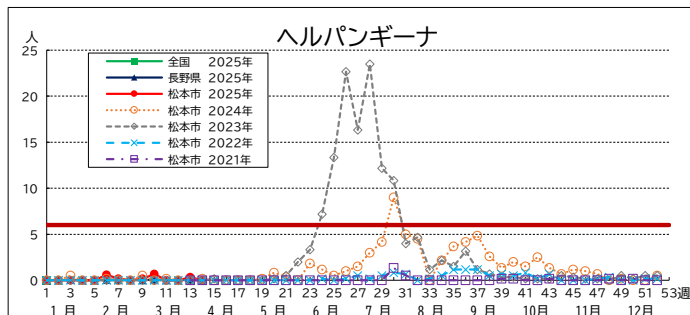
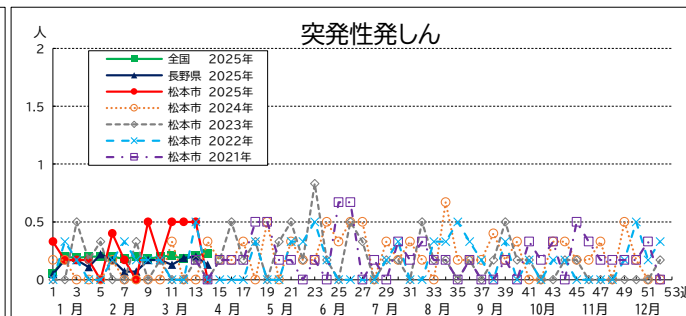
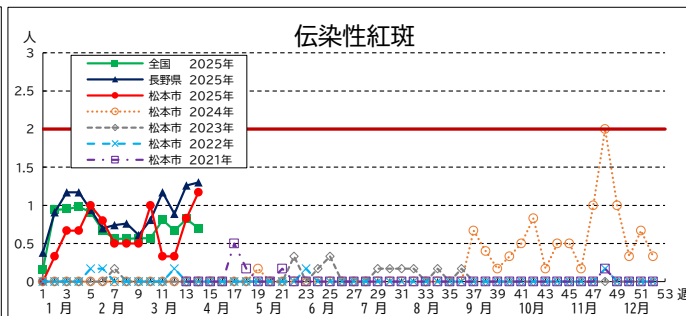
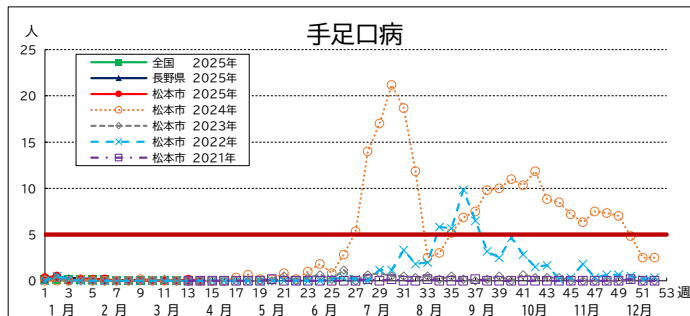
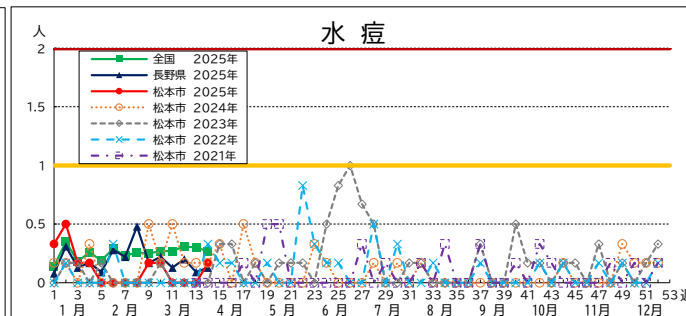
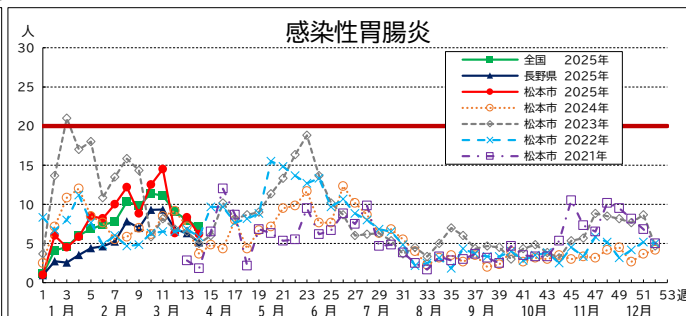
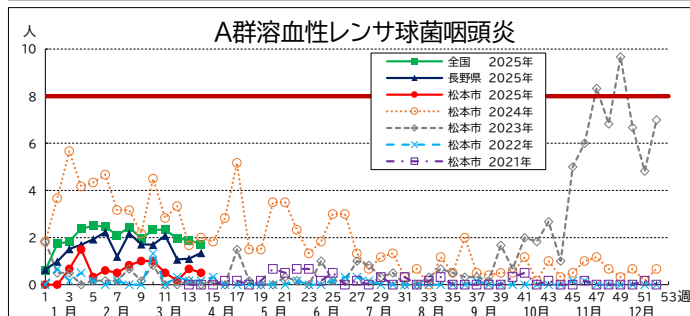
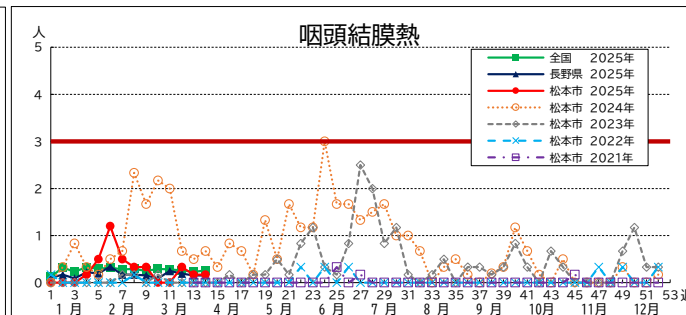
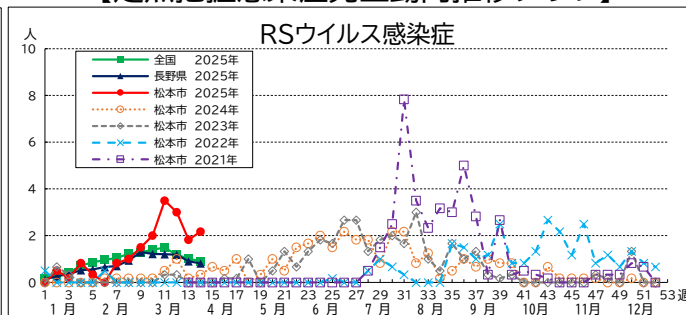
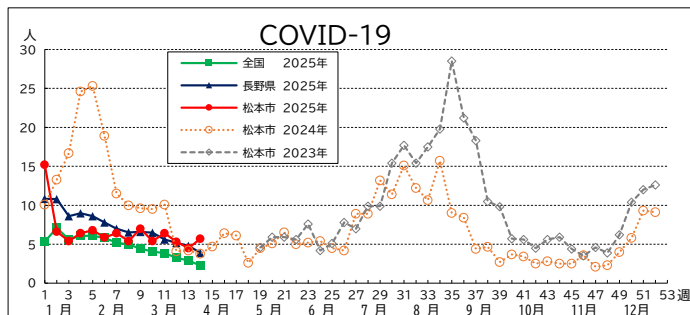
疾病名		年齢	～5か月	～11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計	前週状況	定点あたりの報告数	注意報基準	警報基準
急性出血性結膜炎	男																					0	0	0		1
	女																					0	0			
流行性角結膜炎	男																			1		1	0	2.00		8
	女															1						1	0			

基幹（1定点）

疾病名	年齢	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	前週状況	定点あたりの報告数
細菌性髄膜炎	男																	0	0	0
	女																	0	0	
無菌性髄膜炎	男																	0	0	0
	女																	0	0	
マイコプラズマ肺炎	男																	0	1	0
	女																	0	0	
クラミジア肺炎	男																	0	0	0
	女																	0	0	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	男																	0	0	0
	女																	0	0	

- 警報基準を超える疾患：なし
- 注意報基準を超える疾患：なし
- 第15週は4月16日(水)掲載予定です。
- 松本市インフルエンザ情報を掲載しています。

【定点把握感染症発生動向推移グラフ】



(人数は1定点当たりの報告数)

【全数把握感染症届出状況】(2025年1月～)

	一類(7)							二類(7)							三類(5)					四類(44)			
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群(SARS)	中東呼吸器症候群(MERS)	鳥インフルエンザ(H5N1)	鳥インフルエンザ(H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	ウエストナイル熱(脳炎)	A型肝炎	エキノコックス症
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市 累計	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市2024年(参考)	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	2	0	0	0

	四類(44)																						
	黄熱	オウム病	オムスク出血熱	回歸熱	キャサナル森林病	Q熱	狂犬病	コクシジオイデス症	エムボックス	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	腎症候性出血熱	西部ウマ脳炎	ダニ媒介脳炎	炭疽	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	東部ウマ脳炎	鳥インフルエンザ	ニパウイルス感染症	日本紅斑熱	日本脳炎
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市 累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市2024年(参考)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

	四類(44)																	五類(24)					
	ハンタウイルス 肺症候群	Bウイルス 病	鼻疽	ブルセラ症	ペネズエラ ウマ脳炎	ハンドラ ウイルス 感染症	発しん チフス	ポツリヌス 症	マラリア	野兔病	ライム病	リッサ ウイルス 感染症	リフト バレー熱	類鼻疽	レジオネラ 症	レプトスピ ラ症	ロッキー山 紅斑熱	アメーバ 赤痢	ウイルス性 肝炎 (A・E型除く)	CRE 感染症	急性弛緩性 麻痺(急性灰 白髄炎を除く)	急性脳炎 (日本脳炎 等を除く)	クリプト スポリジウ ム症
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市 累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
松本市2024年(参考)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	1	0	2	0	0	0

※CRE・・・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

	五類(24)																	
	加伊エルブ病	劇症型溶血性レバ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院)	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	VRSA感染症	VRE感染症	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネバクター感染症
松本市 今週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
松本市 累計	0	1	0	0	1	0	1	1	0	3	0	0	0	0	20	0	0	0
松本市2024年(参考)	1	14	0	0	4	0	2	1	0	18	1	0	0	0	4	0	0	0

<松本市ホームページ 感染症情報>

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/230/1552.html>

<長野県ホームページ 長野県感染症情報>

<https://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kenko/kenko/kansensho/joho/index.html>

<厚労省ホームページ 感染症情報>

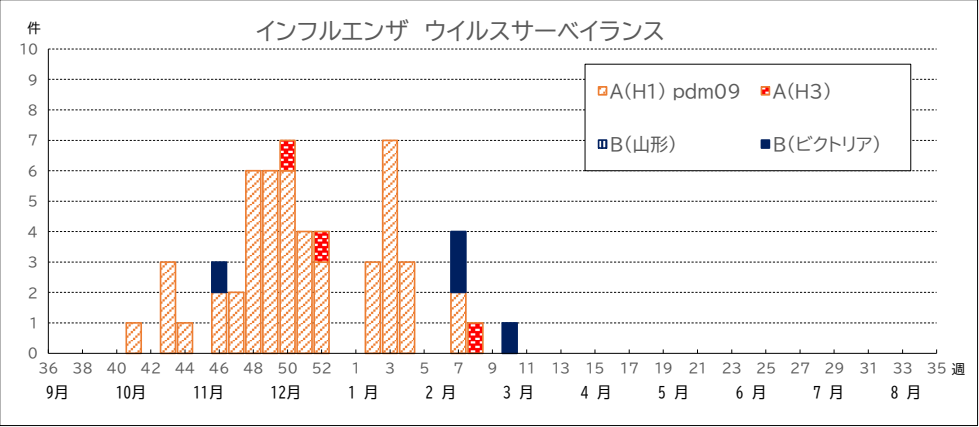
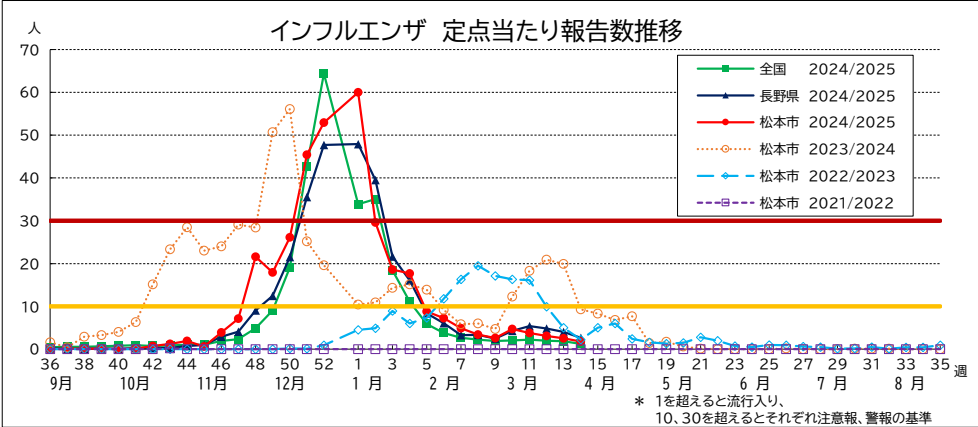
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/index.html>

<松本市ホームページ インフルエンザ(季節性インフルエンザ)>

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/230/1550.html>

松本市インフルエンザ情報(2024-2025シーズン)
2025年第14週(03月31日～04月06日)

※速報値



○インフルエンザウイルスサーベイランス

週数	検体数	A(H1) pdm09	A(H3)	B(山形)	B(ビクトリア)	その他	不検出	検査中
第10週 (3/3～3/9)	2				1			1
第11週 (3/10～3/16)	1							1
第12週 (3/17～3/23)	1							1
第13週 (3/24～3/30)	1							1
第14週 (3/31～4/6)	1							1
今シーズン累計(2024年第36週から)	73	49	3	0	4	0	10	7
前シーズン累計(2024年第19週まで)	164	38	93	0	26	0	7	0
前々シーズン累計(2023年第35週まで)	108	0	95	0	5	0	8	0

*検体採取日を基準とする

○インフルエンザ集団発生サーベイランス

週数	学校等欠席情報								社会福祉施設集団発生			
	休校・休園数	学年閉鎖数	学級閉鎖数	施設数					児童福祉施設	高齢者施設	障がい者施設	その他
				幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他				
第10週 (3/3～3/9)			4			3						
第11週 (3/10～3/16)		1	1		2							
第12週 (3/17～3/23)												
第13週 (3/24～3/30)												
第14週 (3/31～4/6)												
今シーズン累計(2024年第36週から)	1	2	129	5	46	19	8	2	9	2	1	0
前シーズン累計(2024年第19週まで)	3	29	280	12	115	40	13	7	27	1	1	0
前々シーズン累計(2023年第35週まで)	0	3	88	6	34	9	2	3	13	0	0	0

*学校等欠席情報は、休校・休園、学年閉鎖、学級閉鎖等の措置件数及び施設数の延べ数を公表する。週数については措置開始日を基準とする。

*社会福祉施設集団発生は、①重篤または死亡者が2名以上の発生。②患者が10名以上の発生。のいずれかが発生した施設数を公表する。

週数については施設からの報告日を基準とする。